

特集号



市報



がすか

健康と文化の
公園都市
春日

62



21世紀の緑陽都市を

めざして

緑はつるまわいと
やすらぎを
太陽は慈愛と
感動を！

昭和62年度

施政方針(要旨)

今日、我が国においては、売上税の導入をめぐる国会空転の末、抜本的な税制改革の検討が開始され、一方では貿易黒字の解消という国際的な要請に基づき二兆円規模の大型補正予算を中心とする早急な内需拡大策がとられようとしております。このような社会変動の中で、それぞれの地方が自ら考え、自らの力で地域社会を築いていくことが求められております。

今こそ、若い情熱と勇気と希望を持ってまちづくりを進めていかなければならないと私は思っております。そこで、次の三点を市政を運営するための方針として、情報と知恵を生かし、来るべき二十一世紀への機わたりをしようと考えております。

感

動

市民が快適で生きがいを育み、ダイナミックに躍動し、感動するまちづくり。

慈

愛

人を尊び人を敬い、市民が心豊かな人間として子々孫々に語り継いでいけるまちづくり。

やすらぎ

市民が心と身体に安らぎを持ち、快適で安心して、「住んでよかった」また、「いつまでも住んでいたい」と言えるまちづくり。

以上が私のこれから市政を推進するための基本的な考えかたでありますので、七万九千余人の市民の皆様とともに、「新しいまちづくり」に向かって邁進していく所存であります。

都市基盤の整備

—計画的なまちづくり—

春日土地区画整理事業については、水路のふたの設置、泥どめ工事など、また上白水南土地区画整理事業については、白水線(白水池西側から下白水交差点に通じる道路)の一部築造が、それぞれ組合事業として計画されており、市としても大いに支援していきたいと考えております。

—花の香ただようまちへ—

緑は人の心を慈しみ、そこに住む人々にやすらぎを与えるものであります。このため、公共用地の植栽と苗木の配布を行うとともに小・中学校や公民館に種子の配布を計画しています。



花づくりにがんばっている
子どもたち

—安心しておられます—

春日原上大和線(春日公園東側の道路)については、本年もJR九州鹿児島線沿いの車道と一部歩道の整備を行い、上居屋敷平野線(春日神社入口から牛頭に通じる道路)についても引き続き歩車道の改良工事を行い、岡路線とも本年度をもって春日市分を完了します。

また、長浜太宰府線(大土居交差点から一の谷の寺田池北側に通じる道路)については、寺田池周辺の用地買収を行い、さらに白水線(白水池西側から下白水交差点に通じる道路)については、下白水の変則交差点改良に着手いたします。中原池の内線(天神山小の東側から那珂川町へ抜ける予定の道路)については、測量と地質調査を開始します。

一人も車もスムーズに

市道については、下白水交差点の改良に伴い東西地区の入口部分の歩道用地を取得するなど、計画的に整備を図っていきます。

下水道工事後の舗装復旧が遅れ、皆様に御迷惑をおかけしておりますが、本年度より材料、方法等の検討を重ね、積極的に進めたいと考えています。

一わかりやすい町名へ

町界町名地番整備事業については、春日、惣利、平田地区および紅葉ヶ丘東・西の一部を実施し、市民生活に役立てたいと考えています。

一水害の解消へ

浸水等の被害を防止するため、引き続き防衛施設周辺障害防止対策事業として小倉排水路（岡本交差点付近）、春日排水路（春日公園北側）の整備を行います。春日排水路については、昭和六十五年国体のメイン道路である春日公園通り線を施工するため、国体に支障のないよう早期整備を関係機関に積極的に要望していきたくと考えております。

一「つむぎめ」団体「つむぎめ」

市民のオアシスとしての白水大池公園は、本年も引き続き「つむぎめ団体」に向けて園路、遊具、休養施設等の整備を行います。市としても全力をあげて取り組んでおりますので市民の皆様の一層の御協力をお願いするものであります。

下白水第二公園については、園路を築造し植栽

を行い、市民のふれあいの場として利用できるように努力したいと考えております。紅葉ヶ丘第二公園については出入りを整備し、須玖北地区の地下公園については不整形であるため利用しにくい部分用地買収します。

また、親しめる公園づくりを検討するため、市民アンケート調査を考えております。



着々と進むサッカー会場工事
(白水大池)

一下水道で

快適な生活を

下水道事業の経営の健全化を推進するため、本年度より地方公営企業への移行事務を開始するとともに、面的整備を促進し、昭和六十五年度までに市域の六〇パーセントの整備を完全に達成したいと考えております。

社会福祉の充実

一健康づくり

明るいまちを

本年は「春日市健康づくり推進協議会」を発足させ、「春日市健康づくり基本計画」を基に、市民の健康増進に努めたいと考えております。

なお、好評を得ています一日人間ドックの受診者の拡大を始め、ガン検診などの予防対策を行うとともに、市民に密着した健康相談や健康教育の充実を図ってまいりたいと考えております。

一老後の安心へ

ち呆性老人の治療やリハビリが受けられる専門の老人病センターへ改築を予定している日赤の今津病院に本市分のベット数を確保したいと考えております。

社会福祉協議会の老人下宿「幸の里」は、市内居住の老人から入居希望があいつぎ増築を予定されておりますので、援助協力してまいりたいと考えております。

一思いやりの心を

育てるために

各小学校の児童に「障害者福祉読本」を配布し人間性豊かな思いやりの教育を展開したいと考えております。

また、ミニファクス、あんしん電話、を消防署と連結し、聴力障害者や独り暮らしの老人などの緊急連絡用として活用していただきたいと思います。

—父子家庭にも

ホームヘルパーを—

すでに母子家庭において実施していますホームヘルパーの派遣制度を本年度父子家庭にも拡充し、父親の病氣や長期出張の際に派遣したいと考えております。

教育文化の向上

—快適な学習環境を

つくるために—

快適な学習環境を提供するため、春日中学校の屋内運動場大規模改修工事や春日東小学校のプール改修工事、さらに春日東中学校テニスコートなどを整備することにいたしております。

—広げよう友達のを—

青少年が音楽に親しみふれあう機会を設け、心豊かな青少年の育成を図るため、青少年音楽祭を企画したいと考えています。

市民に好評を得ております「帰宅チャイム」については、引き続き小学校に設置します。

—広くなります図書室—

市民の希求する図書館については、諸般の事情から早急に建設することは困難なことであります

が、今後検討していくこととし、本年度は中央公民館図書室の大幅な拡張を計画しています。地域活動の拠点となるコミュニティ供用施設については、本年四月に発足しました弥生地区に建設を計画しています。

—歴史のふるさと—

「弥生のふるさと」

文化財の保護については、特別史跡水城跡の用地取得や環境整備、また文化財収蔵庫の改修を行うとともに、本市の豊かな歴史を振り返るため、弥生のふるさと発掘展を行います。

—市民に望まれる

スポーツ施設を—

市民のスポーツ振興をより図るため、スポーツセンターグラウンドの祝日開放を行っており、さらにスポーツセンタープール及びテニスコートの改修をすることにいたしております。

自然とのふれあいを通じ人間的なつながりや友情、信頼を高めていく場として、青少年野外活動場の事前調査を開始したいと考えております。



最近流行の
ビーチバレーボール



操作もかたんに

行財政運営

—スリムな行政を

めざして—

本市は、国に先駆けて従来よりO・A化の推進や民間委託などにより、積極的に事務の省力化に努めてまいりましたが、春日市行政改革推進委員会から「本市行財政の全般について改革すべき事項」について第一次答申を得ており、今後この答申を受けて具体的に改革を進めるため「行政改革大綱」を策定し、効率性のある行財政の運営を図る所存です。

なお、本市は昭和六十五年度に「とびうめ国体の成年サッカー競技を受け持たせていただきます。このため、去る六月一日に「国体室」を設置いたしました。

是非成功させたいと考えておりますので、皆様の大なる御支援、御協力をよろしくお願いいたします。